



2021年12月15日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン
代表者名 代表取締役 清川 浩志
(コード番号8107 東証第1部)
問合せ先 常務取締役 木村 裕輔
(電話 078-806-8234)

新市場区分「スタンダード市場」選択に関する取締役会決議のお知らせ

当社は、2021年12月15日開催の取締役会において、2022年4月4日に予定されている新たな市場区分への移行に関して、「スタンダード市場」を選択することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より、2021年6月30日を移行基準日とした「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、「スタンダード市場」の上場維持基準に適合していること、「プライム市場」の上場維持基準には流通株式時価総額の項目で基準を充たしていないことを確認いたしました。

この結果に基づき、当社といたしましては、さまざまな観点より検討を進めてまいりましたが、本日開催の取締役会において、新市場区分「スタンダード市場」を選択することを決議いたしました。

「スタンダード市場」選択が適切であるとの判断に至った考え方は以下のとおりであります。

当社は、現在の業況を踏まえると、早期の業績改善が最重要課題であり、さらには新たな成長戦略により持続的な成長と安定的な財務基盤の構築を実現し、企業価値の回復と向上を図ることが、上場企業としての最大の使命であると認識しております。この認識は市場選択がいずれであっても変わることはなく、株主の皆様をはじめステークホルダーの利益の最大化に努めてまいり所存であります。

当社は、プライム市場の上場維持基準における流通株式時価総額については、将来的には安定して充たすことができるよう努力すべきものと考えておりますが、現在の当社の財務状況に鑑みると、それは中長期的な事業ポートフォリオの再構築、成長戦略、株主還元策等のもとに達成され得るものであり、短期的に拙速に実現を目指すことは、上記に掲げるステークホルダーの利益の最大化に反することにもなり兼ねないと考えております。

プライム市場を選択した場合に求められる基準には、コストの増加や人的資源の追加を要するものも少なくないと考えられます。当社としては、選択市場に相応しいガバナンスの強化を前提としつつ、限られた経営資源を業績の改善と成長戦略の実行に振り向け、着実に成果につなげていくことが最優先であると認識しておりますが、その積み重ねのうえに持続的な成長は実現し得るものであり、最終的には株主価値の最大化に資するものであると考えております。

以上を踏まえ、「スタンダード市場」を選択することが適切であると判断いたしました。

当社は、今後、株式会社東京証券取引所の定める申請スケジュールに従い、所定の手続きを進めてまいります。株主及びステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以 上